

鳥取県立美術館整備運営事業

業務要求水準書 別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様

壁面展示ケースの仕様は下記を基準とし、本仕様を超える提案は加点要素とみなす。

1 寸法

(1) 天井4.5メートルの展示室の場合

H4500（下部パネルH600、ガラスH2600、上部パネル1300）

(2) 天井3.5メートルの展示室の場合

H3500（下部パネルH600、ガラスH2200、上部パネル700）

2 扉 外開き式フラット扉タイプ（手動式）

3 気密性能 エアタイト型

(1) エアタイト仕様 空気交換率0.5回／日以下の性能を有すること。

(2) ケース内部からの有害物質の放散を抑えるとともにケース外部からの有害物質の侵入がない構造とすること。

(3) 展示ケース内部のホルムアルデヒド、有機酸（酢酸）、アンモニア濃度を測定し、県に報告書を提出すること。当該物質については東京文化財研究所の基準値以下に収めること。（ホルムアルデヒド80ppb以下（0.08ppm）、有機酸（酢酸）170ppb以下、アンモニア30ppb以下）

4 温湿度性能

湿度については±5%以内で収まる性能を有するものとし、調湿剤ボックスにカセットタイプの調湿剤が設置可能のこと。また過去3年間に納入したエアタイトケースでの上記性能を示すデータを提出すること。納入前及び納入後にデータロガーにて所定の期間測定を行い、県に報告書を提出すること。

5 フロントガラス

高透過ガラス10t+両面低反射高性能フィルム貼り（飛散防止機能兼用）

6 照明装置

(1) 上部照明：LED照明2色（調光・色温度可変式）、ライティングレール（調光式）・スポットライト別途

(2) 下部照明：LED照明2色（調光・色温度可変式）、ライティングレール（調光式）・小型LEDライト別途

(3) 床面の照度200ルクス以上を確保する。展示面において均斎度を中心部より有効展示範囲（監督職員と協議の上決定）で0.7以上を確保すること。

(4) 照明演色性は平均演色評価数（R1～R8）Ra95以上を確保すること。分光分布図、演色評価数を示すデータを県へ提出すること。

(5) 調光は5～100%の範囲でスムーズな調光が可能とする。

(6) 調色は色温度2700K～4200K程度の範囲内で無段階調色可能とする。

7 内装 「不透湿下地板+無機質系中性調湿板+平織布クロス」又は同等以上の仕様とする。

8 外装 スチールパネル アクリル焼付塗装仕上げ

9 免震装置 免震装置置き式とする（業務要求水準書別添資料17「什器備品及び映像音響機器リスト」を参照のこと。）

10 一般事項

(1) 使用する主要部品、部材は日本工業規格（JIS）又は国際標準化機構（ISO）に準拠すること。

(2) 展示ケース一式はJIS表示認定、ISO9001又はISO14001認定、又は同等の規格認定を受けた工場又は会社で管理して製作、設置を行うこと。

11 実績

過去5年間に重要文化財を有する国公立の博物館・美術館施設へ同等品エアタイト展示ケースの納品実績を有すること。